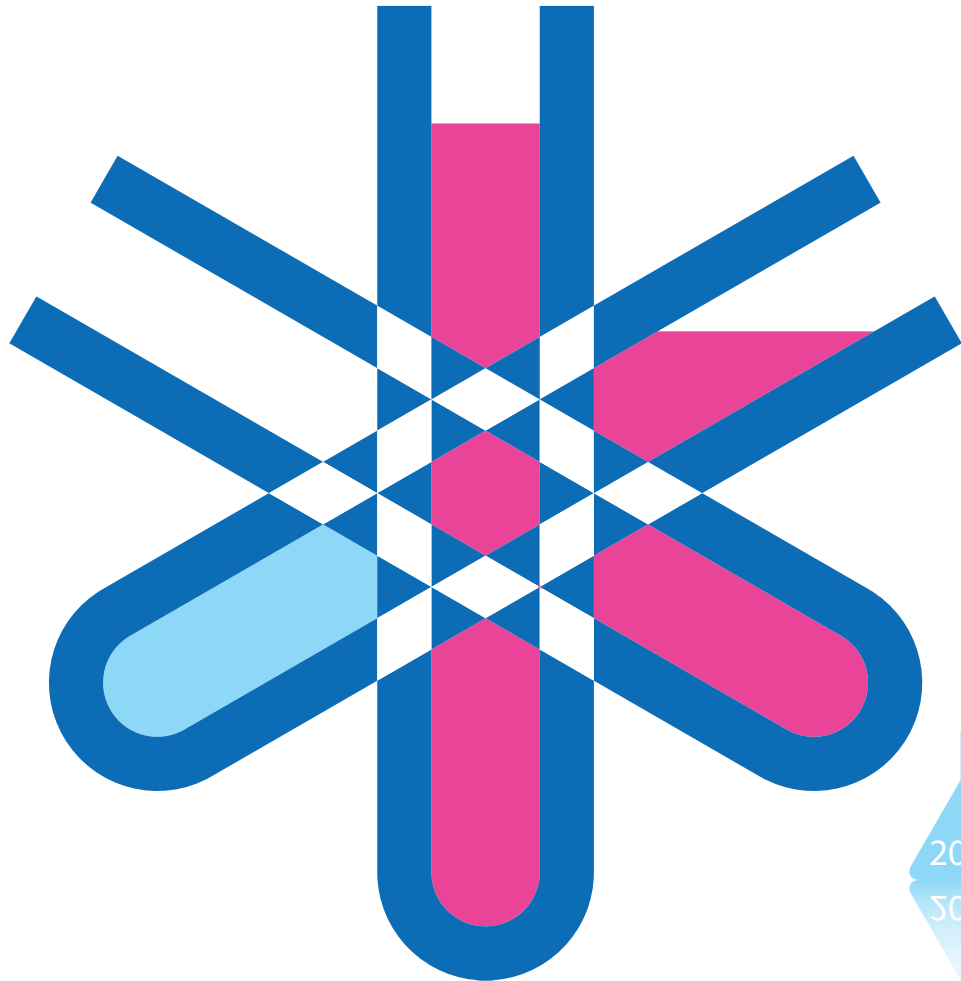


横查情報月報



2020
5050

2月
5日

横浜市衛生研究所

令和2年2月号 目次

【検査結果】

年末食品収去検査結果(令和元年度)	1
魚介類中のPCB検査結果(令和元年度)	3

【感染症発生動向調査】

感染症発生動向調査報告 1月	4
----------------------	---

【情報提供】

衛生研究所WEBページ情報	8
---------------------	---

年末食品収去検査結果(令和元年度)

年末食品等一斉点検事業は厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官から出された「令和元年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の通知に基づき、食品流通量が増加する年末及び食中毒患者が多発する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から全国一斉に実施されるものです。

本市においては令和元年11月1日から12月27日までを年末取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターによる収去で搬入された検体について、当所が行った食品添加物検査及び細菌検査の結果について報告します。

1 食品添加物検査

搬入された140検体(輸入品74検体、国産品66検体)の食品について、菓子類、野菜類・果物及びその加工品などを重点的に、保存料、着色料、酸化防止剤など2,459項目の検査を実施しました(表1)。

その結果、いずれも食品衛生法及び食品表示法に適合していました。

表1 食品添加物検査結果

令和元年11～12月

食品区分	検体数	違反検体数	項目数	検査項目					
				保存料	着色料	甘味料	酸化防止剤	漂白剤	発色剤
魚介類加工品	6	0	107	15	85	2	3	1	1
肉卵類及びその加工品	18	0	249	42	187	-	2	-	18
乳製品	7	0	89	21	68	-	-	-	-
穀類及びその加工品	2	0	24	-	17	2	5	-	-
野菜類・果物及びその加工品	24	0	405	66	289	37	6	7	-
菓子類	27	0	504	42	357	59	46	-	-
清涼飲料水	9	0	236	81	136	19	-	-	-
酒精飲料	7	0	113	21	85	-	6	1	-
かん詰・びん詰食品	15	0	257	48	153	20	32	4	-
その他の食品	25	0	475	48	357	30	35	3	2
合計	140	0	2,459	384	1,734	169	135	16	21

- : 未実施

【 理化学検査研究課 食品添加物担当 】

2 細菌検査

細菌検査の内訳は、食肉製品・洋生菓子・そうざいなど99検体252項目でした(表2)。

検査の結果、規格基準^{*1}違反はなく、洋生菓子で衛生規範^{*2}不適が4検体ありました。

検査結果については、収去を実施した食品専門監視班及び各区福祉保健センターに報告しました。

^{*1} 規格基準とは、食品及び添加物について食品衛生法第11条により基準、規格を定めたものことです。

^{*2} 衛生規範とは、弁当、そうざい、漬物、洋生菓子及び生めん類について定められた衛生的な取り扱い等の指針のことです。

表2 細菌検査結果

令和元年11～12月

食品区分	検査 検体数	検査 項目数	違反・不適 検体数	違反・不適理由
魚介類加工品				
ゆでがに	2	6		
ゆでだこ・むしだこ	4	4		
魚肉練り製品	1	1		
肉卵類及びその加工品				
非加熱食肉製品(生ハム)	6	24		
包装後加熱食肉製品	1	5		
加熱後包装食肉製品(ハム、ベーコン等)	9	27		
乳製品				
ナチュラルチーズ	6	6		
アイスクリーム類				
アイスマルク	2	4		
穀類及びその加工品				
ゆでめん	1	3		
野菜類・果物及びその加工品				
漬物類	4	4		
菓子類				
洋生菓子	26	78	4	大腸菌群陽性
清涼飲料水				
清涼飲料水	5	5		
ミネラルウォーター	1	1		
その他の食品				
加熱そうざい	24	72		
非加熱そうざい(サラダ等)	2	2		
容器包装詰加圧加熱殺菌食品	5	10		
合 計	99	252	4	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】

魚介類中のPCB検査結果(令和元年度)

令和元年6月と10月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類7種10検体について、PCBの検査を行いました。その結果、表に示すとおり全ての検体で不検出でした。

表 PCBの検査結果

食品の種類	検体数	検出件数	結果	暫定的規制値
遠洋沖合魚介類	ゴマサバ	1	0	不検出
	サンマ	1	0	不検出
	マイワシ	3	0	不検出
内海内湾魚介類	アカカマス	1	0	不検出
	クロソイ	1	0	不検出
	ブリ	1	0	不検出
	マアジ	2	0	不検出
計	10	0		

(検出限界:0.01ppm)

《PCBについて》

PCBとは、ポリ塩化ビフェニル(Poly Chlorinated Biphenyl)の略称で、ポリ塩化ビフェニル化合物の総称です。理論的には209種類の異性体があり、ダイオキシン類に分類される異性体も含まれています。

PCBは化学的に安定で、不燃性、高絶縁性などの特徴を持つため、トランス(変圧器)、コンデンサー(蓄電器)などの様々な用途に使用されてきました。

PCBは分解されにくく、脂肪に溶けやすい性質があるため、環境中に放出されたものは食物連鎖の上位に位置する生物に蓄積され、魚介類、肉類、乳製品などに汚染が広がりました。また、大気や海洋などの循環により拡散し、北極圏などPCBを使用していない地域のアザラシやクジラなどの生物にも高濃度に蓄積されていることがあり、地球規模での汚染が問題となっています。

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】

横浜市感染症発生動向調査報告 1月

《今月のトピックス》

- インフルエンザの流行注意報が発令されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しています。
- 感染性胃腸炎の報告が増加しています。

◇ 全数把握の対象

〈1月期に報告された全数把握疾患〉

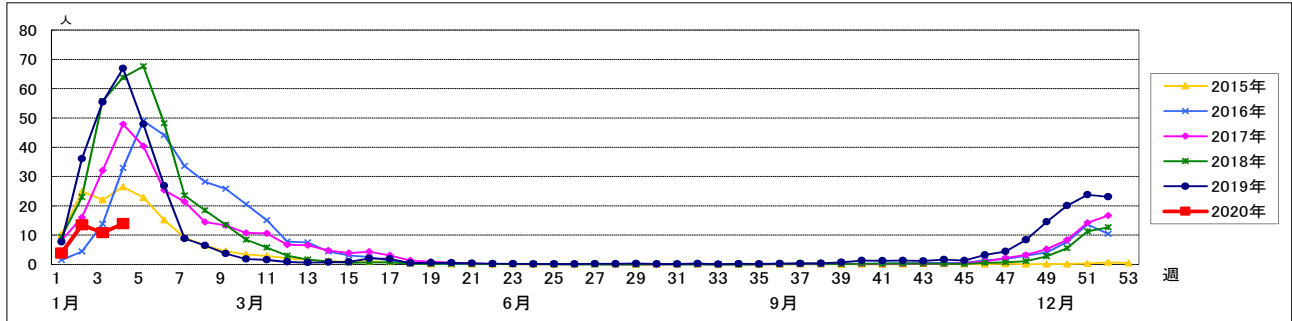
細菌性赤痢	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
腸管出血性大腸菌感染症	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	1件
E型肝炎	3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
A型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	11件
マラリア	1件	水痘(入院例に限る)	2件
レジオネラ症	2件	梅毒	10件
アメーバ赤痢	1件	百日咳	6件
ウイルス性肝炎	1件	風しん	3件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2件	麻しん	1件
急性脳炎	4件	-	-

- 細菌性赤痢:国内での経口感染と推定されるSonnei(D群)の報告が1件ありました。
- 腸管出血性大腸菌感染症:O103(無症状病原体保有者)の報告が1件ありました。
- E型肝炎:経口感染と推定される報告が3件ありました。
- A型肝炎:性的接触(詳細不明)による感染と推定される報告が1件ありました。
- マラリア:ギニアでの蚊からの感染と推定される熱帯熱マラリアの報告が1件ありました。
- レジオネラ症:肺炎型2件の報告があり、感染経路等不明でした。
- アメーバ赤痢:1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- ウイルス性肝炎:B型肝炎の報告が1件ありました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:2件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 急性脳炎:10歳未満の報告が3件(病原体はインフルエンザAが2件、不明が1件)、10歳代の報告が1件(病原体はインフルエンザA)ありました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: G群の報告が1件ありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む):AIDSの報告が1件(男性、同性間性的接触)ありました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症:70歳代の報告が1件、80歳代の報告が1件ありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症:10歳未満の報告が3件(ワクチン接種あり2件、不明1件)、50歳代の報告が1件(ワクチン接種不明)、70歳代の報告が3件(ワクチン接種なし1件、不明2件)、80歳以上の報告が4件(ワクチン接種なし1件、不明3件)ありました。
- 水痘(入院例に限る):70歳代および80歳代の検査診断例の報告が1件ずつありました。
- 梅毒:10件の報告(無症状病原体保有者5件、早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件)がありました。感染地域はいずれも国内で、感染経路は性的接触が9件(異性間が5件、同性間が2件、性別不詳が2件)、不明が1件でした。性別は男性6件、女性4件でした。
- 百日咳:10歳未満が2件(ワクチン接種あり)、10歳代が2件(ワクチン接種あり)、40歳代が1件(ワクチン接種不明)、70歳代が1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 風しん:検査診断例の報告が3件ありました。30歳代女性1件(ワクチン接種1回あり)、50歳代男性1件(ワクチン接種不明)、60歳代男性1件(ワクチン接種不明)でした。
- 麻しん:検査診断例1件(10歳未満、ワクチン接種1回あり)が報告されています。

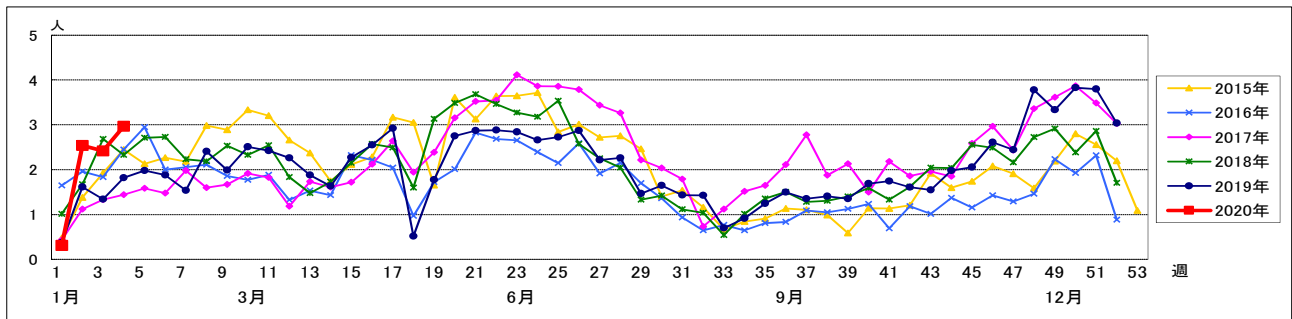
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第52週	12月23日～12月29日
第1週	12月30日～1月5日
第2週	1月6日～1月12日
第3週	1月13日～1月19日
第4週	1月20日～1月26日

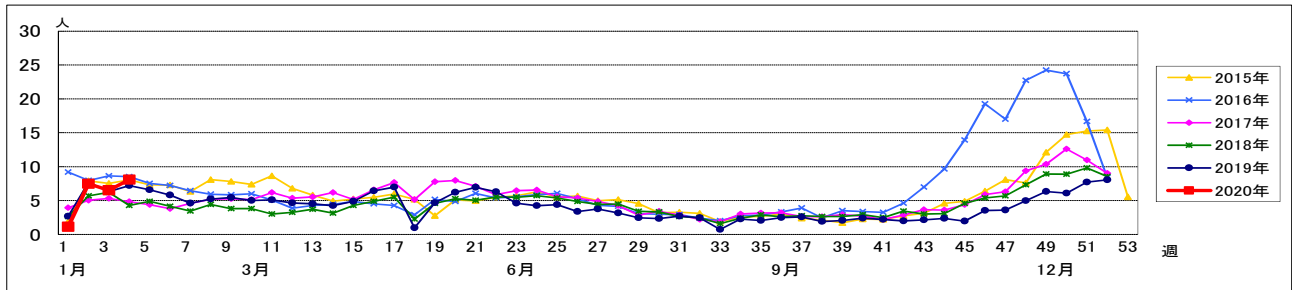
1 インフルエンザ: 市全体の定点あたりの患者報告数は、第35週で0.15、第36週で0.29、第39週で0.66と増加し、第40週で1.32となり、流行開始の目安(1.00)を上回りました。第49週に14.51となり、流行注意報が発令されました。第3週で10.80、第4週で13.92と横ばいで推移しています。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 夏に報告数が減少していましたが、冬季に入って報告数が増加しています。第3週で2.41、第4週で2.97となっています。



3 感染性胃腸炎: 冬季に入って報告数が増加しています。第4週は8.08となっています。



4 性感染症(12月)

性器クラミジア感染症	男性:23件	女性:28件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:5件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:4件	淋菌感染症	男性:11件	女性:2件

5 基幹定点週報

	第52週	第1週	第2週	第3週	第4週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.75	0.00	1.00	0.25	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(12月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

1月期(2019年第52週～2020年第4週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点41件、内科定点27件、基幹定点27件、定点外医療機関からは8件でした。

2月5日現在、表に示した各種ウイルスの分離株66例と遺伝子4例が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果1月期(2019第52週～2020第4週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	そ の 他
インフルエンザ AH1pdm09 型	1	1	57 1		1	2
インフルエンザ AH3 型			1			
インフルエンザ B 型 (Victoria)			2			
アデノ 2 型				1		
ヘルペス 1 型						1
ノロ G2 型				2		
合計	1	1	60 1	3	1	3

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*:疑い含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

1月期(2019年52週から2020年4週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管毒素原性大腸菌2件、腸管凝集性大腸菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌5件、侵襲性肺炎球菌1件、劇症型溶血レンサ球菌1件、大腸菌7件、サルモネラ属菌2件。非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、カルバペネム耐性細菌1件、侵襲性肺炎球菌2件、エルシニア1件、侵襲性インフルエンザ菌1件、大腸菌1件の依頼がありました。

保健所からは、赤痢菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、侵襲性肺炎球菌3件、侵襲性インフルエンザ菌3件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からマラリア1件、保健所からレジオネラ1件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌4件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査1月期(2019年52週～2020年4週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
基幹定点	腸管毒素原性大腸菌	2	O167 ST1a (1)、O25 LT1 (1)
	腸管凝集性大腸菌	1	O15 <i>aggR+</i> (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (2) <i>Enterobacter cloacae</i> (1) <i>Klebsiella aerogenes</i> (1) <i>Escherichia coli</i> (1)
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)
	劇症型溶血レンサ球菌	1	G 群溶血性レンサ球菌 (1)
	大腸菌	7	<i>Escherichia coli</i> O6 (2)、O18 (1)、O25 (2)、O153 (1)、その他 (1)
	サルモネラ属菌	2	<i>Salmonella</i> Richmond (1)、検査中 (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)
	カルバペネム耐性細菌	1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> (1)
	侵襲性肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (2)
非定点	エルシニア	1	<i>Yersinia enterocolitica</i> (1)
	侵襲性インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> UT (1)
	大腸菌	1	その他 (1)
	赤痢菌	1	<i>Shigella sonnei</i> (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Citrobacter braakii</i> (1) <i>Klebsiella oxytoca</i> (1)
保健所	侵襲性肺炎球菌	3	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (3)
	侵襲性インフルエンザ菌	3	<i>Haemophilus influenzae</i> UT (3)

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関 基幹定点	マラリア	全血	1	<i>Plasmodium falciparum</i> (LAMP 法)
保健所	レジオネラ	喀痰	1	不検出 (1)

小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A 群溶血性レンサ球菌	4	T4 (2)、T6 (1)、T25 (1)

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、令和2年1月のアクセス件数、アクセス順位、電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については市民局広報課から提供されたデータを基に集計しました。平成31年3月26日より、新しいホームページへの移行に伴い、URLの変更が行われ、平成31年4月以降のアクセス件数は、新しいホームページでの集計となります。

1 利用状況

(1) アクセス件数

令和2年1月の総アクセス数は、414,505件でした。前月に比べ約1%減少しました。主な内訳は、横浜市感染症情報センター*180.9%、保健情報10.1%、検査情報月報3.5%、食品衛生1.2%、薬事1.1%、生活環境衛生0.6%でした。

*1 横浜市では、衛生研究所感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しており、横浜市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを速やかに提供・公開しています。

(2) アクセス順位

1月のアクセス順位(表1)を見ると、感染症に関する項目が、大半を占めています。

1位は、「横浜市感染症情報センタートップページ」、2位は、「コロナウイルス感染症について」、3位は、「インフルエンザ流行情報(2019/2020)」でした。5位には、「死亡率・致死率(致命率)・死亡割合について」が入っています。

表1 令和2年1月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	横浜市感染症情報センタートップページ	89,262
2	コロナウイルス感染症について	51,712
3	インフルエンザ流行情報(2019/2020)	12,404
4	大麻(マリファナ)について	10,360
5	死亡率・致死率(致命率)・死亡割合について	7,660
6	トキソプラズマ症について	5,084
7	インフルエンザについて	5,067
8	衛生研究所トップページ	4,658
9	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	4,401
10	EBウイルスと伝染性単核症について	4,138

データ提供:市民局広報課

「横浜市感染症情報センタートップページ」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

「コロナウイルス感染症について」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/shikkan/ka/corona1.html>

「インフルエンザ流行情報(2019/2020)」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/rinji/influenza-rinji-2019.html>

(3) 電子メールによる問い合わせ

令和2年1月の問い合わせは、3件でした(表2)。

表2 令和2年1月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数
インフルエンザワクチンについて	1
新型コロナウイルス感染症について	1
百日咳のワクチン接種について	1

2 追加・更新記事

令和2年1月に追加・更新した主な記事は、8件でした(表3)。

表3 令和2年1月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
1月 9日	横浜市インフルエンザ流行情報13号	掲載
1月17日	横浜市インフルエンザ流行情報14号	掲載
1月23日	横浜市インフルエンザ流行情報15号	掲載
	2017年度(平成29年度)がん検診区別実績	掲載
	2017年度(平成29年度)がん種別・区別グラフ	掲載
1月24日	コカインについて	掲載
1月30日	横浜市インフルエンザ流行情報16号	掲載
	新型コロナウイルス感染症について	更新

【 感染症・疫学情報課 】